

令和6年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

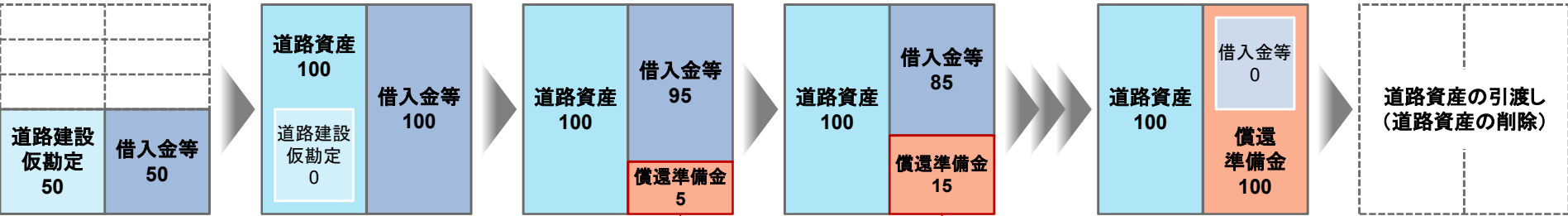
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

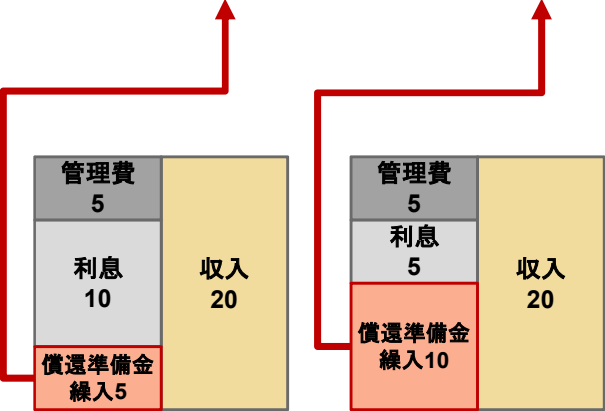
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



貸借対照表



損益計算書



3. 収支状況

令和6事業年度損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	R6年度	R5年度	増減額	勘定科目	R6年度	R5年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	61,560	61,348	211	経常収益	61,556	61,358	198
事業資産管理費	21,842	18,745	3,098	業務収入	61,268	61,179	89
福岡高速道路管理費	15,793	13,230	2,563	道路料金収入	60,600	60,537	62
北九州高速道路管理費	5,879	5,361	518	(福岡高速道路)	43,830	43,699	131
福岡駐車場管理費	115	101	14	(北九州高速道路)	16,769	16,838	△ 69
北九州駐車場管理費	55	53	2	ETCマイレージ還元負担金収入	207	213	△ 6
				(福岡高速道路)	184	191	△ 7
一般管理費	1,765	1,610	155	(北九州高速道路)	22	22	0
一般管理費	1,521	1,402	120	駐車場料金収入	232	230	2
その他	244	208	36	(福岡駐車場)	122	118	4
				(北九州駐車場)	110	113	△ 2
引当金等繰入	34,914	37,889	△ 2,975	その他	230	199	31
道路事業損失補てん引当金繰入	2,755	2,752	3	受託業務収入	229	135	94
(福岡高速道路)	1,992	1,986	6	負担金事業受入金	10	0	10
(北九州高速道路)	762	765	△ 3				
償還準備金繰入	32,159	35,137	△ 2,978	業務外収益	49	44	5
(福岡高速道路)	23,614	26,045	△ 2,430	受取利息	1	0	1
(北九州高速道路)	8,545	9,093	△ 548	雑益 他	48	44	4
受託業務費	229	135	94				
負担金事業費	10	0	10	当期損失金	4	0	4
業務外費用	2,800	2,970	△ 170				
債券利息	2,559	2,659	△ 100				
借入金利息	135	183	△ 48				
雑損 他	106	129	△ 22				
当期利益金	0	9	△ 9				
合 計	61,560	61,358	202	合 計	61,560	61,358	202

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、441億6,900万円、前年度対比1億3,000万円の増となりました。これは、通行台数が前年度に比べて増えたことにより高速道路料金収入が増加したためです。(通行台数は、前年度に比べ1日当たり922台の増加)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、205億5,500万円、前年度対比25億6,000万円の増となりました。これは主に、道路修繕費の増により事業資産管理費が増加したためです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、236億1,400万円(対前年度比24億3,000万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

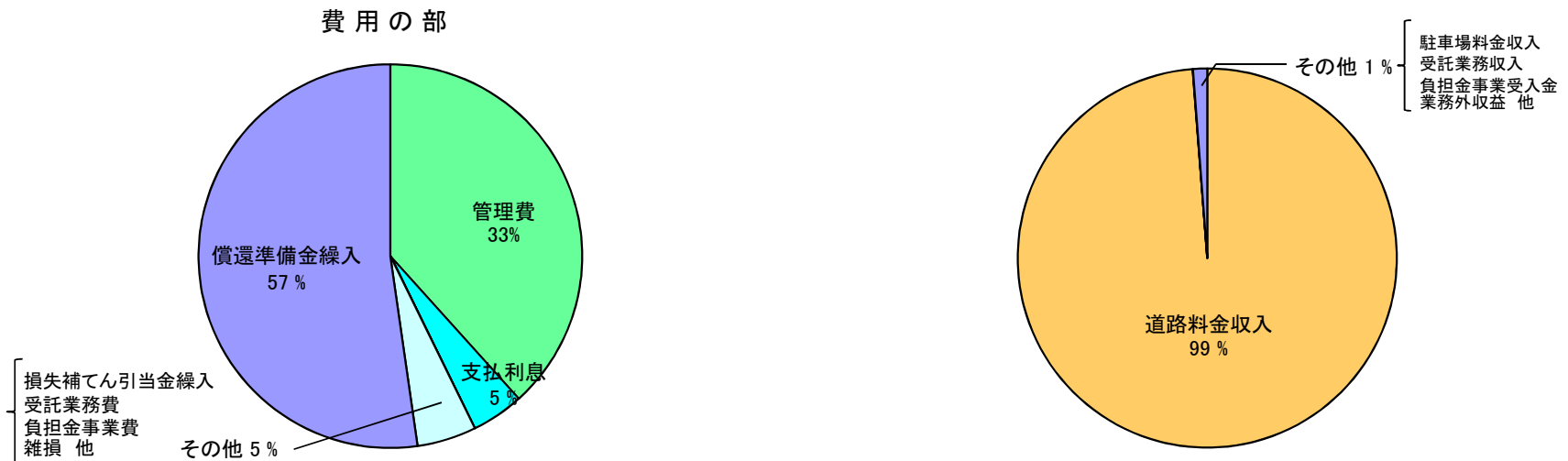
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、169億1,500万円、前年度対比3,800万円の減となりました。これは、通行台数が前年度に比べて減ったことにより高速道路料金収入が減少したためです。(通行台数は、前年度に比べ1日当たり168台の減少)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、83億7,000万円、前年度対比5億1,000万円の増となりました。これは主に、道路修繕費の増により事業資産管理費が増加したためです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、85億4,500万円(対前年度比5億4,800万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期損失は400万円(利益:対前年比1,300万円の減)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



4. 営業中道路の収支状況(収支率)

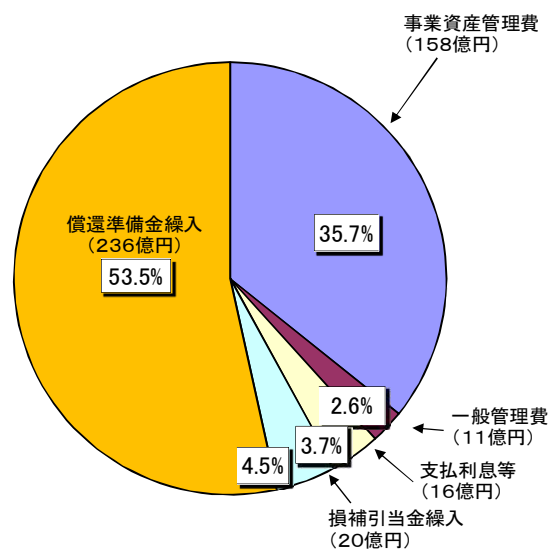
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

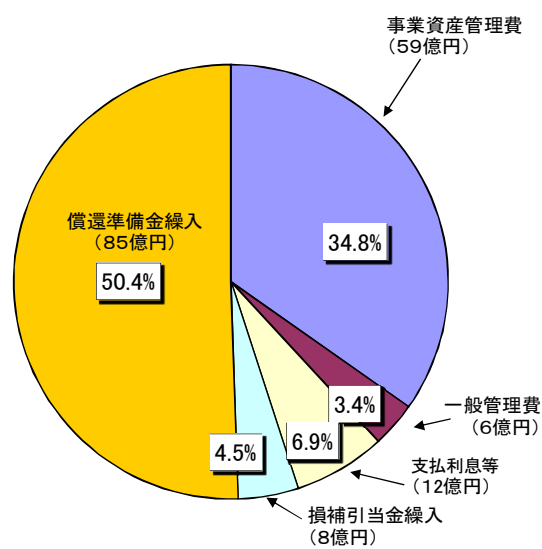
	福岡高速道路								北九州高速道路								合 計							
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B		
R06	44,169	15,793	1,130	1,639	1,992	20,555	23,614	46.5%	16,915	5,879	567	1,161	762	8,370	8,545	49.5%	61,084	21,672	1,698	2,800	2,755	28,925	32,159	47.4%
R05	44,039	13,230	1,013	1,765	1,986	17,995	26,045	40.9%	16,952	5,361	529	1,205	765	7,860	9,093	46.4%	60,992	18,591	1,542	2,970	2,752	25,855	35,137	42.4%

(注)端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

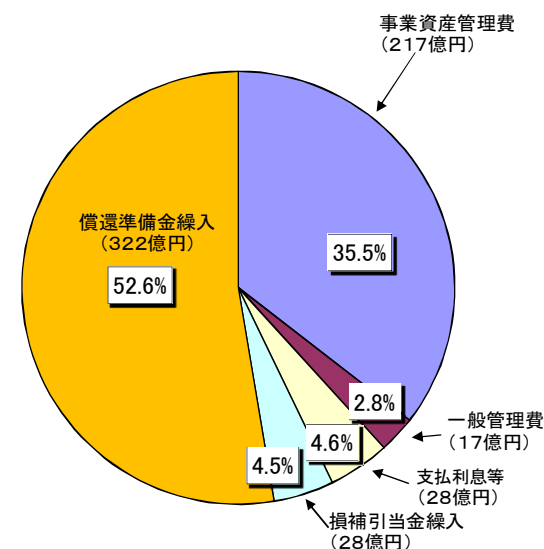
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合 計(費用の内訳)



5. 財務状況

令和6事業年度貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	R6年度	R5年度	増減額	勘 定 科 目	R6年度	R5年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	20,687	21,102	△ 415	流動負債	54,727	37,023	17,704
固定資産	1,319,282	1,307,255	12,027	固定負債	328,302	370,301	△ 41,999
事業資産	1,295,604	1,288,073	7,531	福岡北九州高速道路債券	258,000	296,000	△ 38,000
(福岡高速道路)	911,692	909,046	2,646	長期借入金	63,050	67,086	△ 4,036
(北九州高速道路)	383,912	379,027	4,885	退職給与引当金	220	186	34
事業資産建設仮勘定	8,735	6,349	2,387	ETCマイレージ引当金	143	140	3
(福岡高速道路)	8,721	4,549	4,172	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	14	1,799	△ 1,785				
有形固定資産	1,328	1,386	△ 58	特別法上の引当金等	729,721	694,807	34,914
その他	13,615	11,448	2,167	道路事業損失補てん引当金	38,663	35,909	2,755
				(福岡高速道路)	24,490	22,498	1,992
				(北九州高速道路)	14,173	13,411	762
繰延資産	461	555	△ 94	償還準備金	691,058	658,899	32,159
				(福岡高速道路)	546,598	522,984	23,614
				(北九州高速道路)	144,460	135,915	8,545
				(負債合計)	1,112,750	1,102,131	10,619
				基本金	226,497	225,593	904
				剰余金	1,183	1,187	△ 4
				(資本合計)	227,680	226,780	900
資 産 合 計	1,340,430	1,328,912	11,518	負 債・資 本 合 計	1,340,430	1,328,912	11,518

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

（資産の状況）

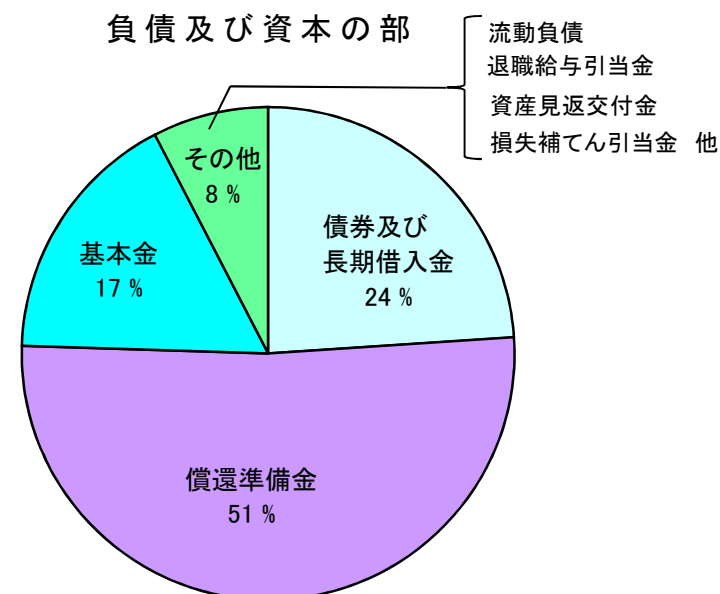
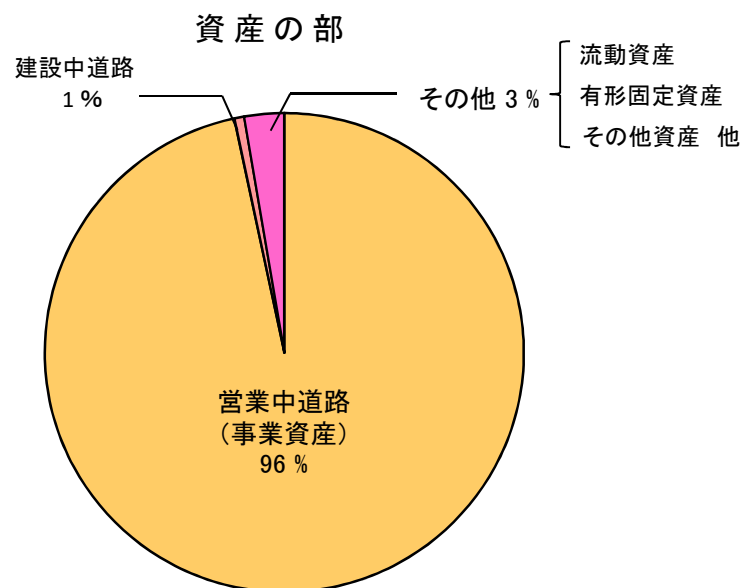
資産の総額は、1兆3,404億3,000万円となっています。このうち営業中道路の価額は1兆2,956億0,400万円で、資産全体の約97%を占めています。

（負債及び資本の状況）

負債及び資本の総額は、1兆3,404億3,000万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金が3,682億0,600万円（流動負債計上分の1年以内返済予定債券・借入金471億5,700万円及び固定負債計上分3,210億5,000万円の合計額）、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額（償還準備金）が6,910億5,800万円（福岡高速5,465億9,800万円、北九州高速1,444億6,000万円）、地方公共団体からの出資金が2,264億9,700万円となっています。

（注） 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

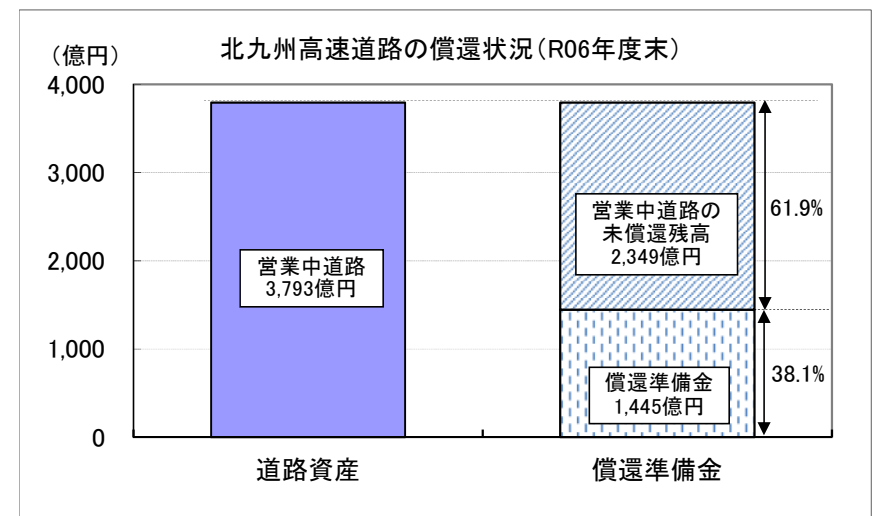
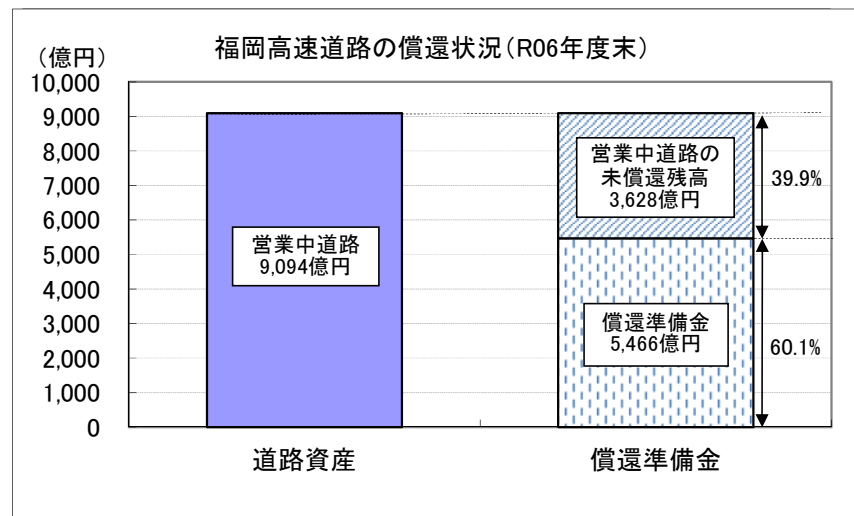
福岡高速道路						
(単位:百万円)						
	営業中道路の 資産総額 (A)	資産見返 交付金 (B)	営業中道路 (償還対象額) (C)=(A)-(B)	償還準備金 (D)	未償還残高 (C-D)	償還率 (D/C) × 100
R06	911,692	2,313	909,378	546,598	362,780	60.1% (+2.4P)
R05	909,046	2,313	906,733	522,984	383,749	57.7%

北九州高速道路						
(単位:百万円)						
	営業中道路の 資産総額 (A)	資産見返 交付金 (B)	営業中道路 (償還対象額) (C)=(A)-(B)	償還準備金 (D)	未償還残高 (C-D)	償還率 (D/C) × 100
R06	383,912	4,576	379,336	144,460	234,877	38.1% (+1.8P)
R05	379,027	4,576	374,451	135,915	238,536	36.3%

「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

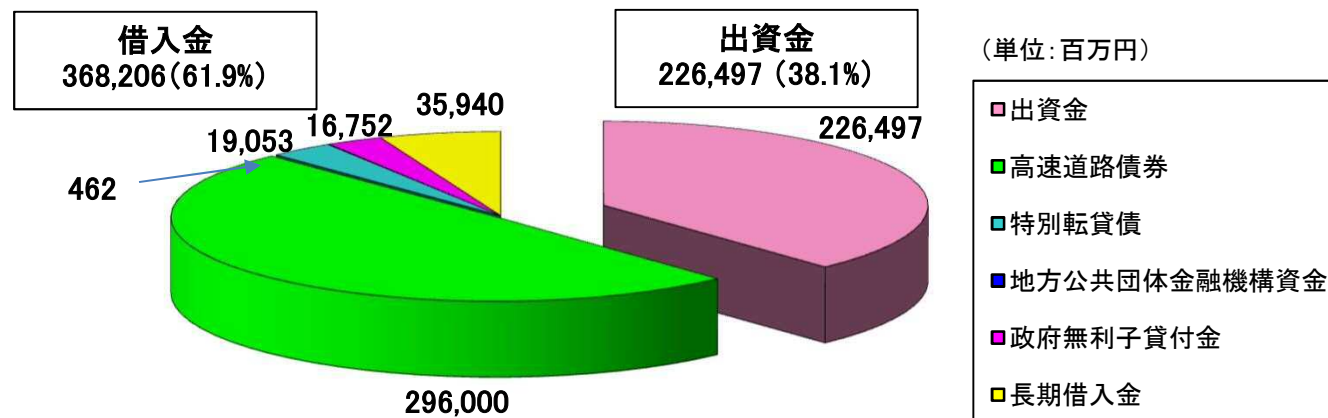
7. 長期借入金の残高状況

令和6年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳					
					福岡高速			北九州高速		
		R6年度	R5年度	増減額	R6年度	R5年度	増減額	R6年度	R5年度	増減額
		A	B	A－B	A	B	A－B	A	B	A－B
設立団体出資金		226,497	225,593	904	168,437	167,813	624	58,060	57,780	280
借入金	高速道路債券	296,000	308,500	△ 12,500	163,010	171,560	△ 8,550	132,990	136,940	△ 3,950
	特別転貸債	19,053	20,201	△ 1,148	16,390	17,669	△ 1,279	2,662	2,532	131
	地方公共団体金融機構資金	462	766	△ 304	349	600	△ 251	113	166	△ 53
	政府無利子貸付金	16,752	19,097	△ 2,346	14,244	16,159	△ 1,915	2,508	2,939	△ 431
	長期借入金	35,940	38,814	△ 2,874	5,333	8,297	△ 2,964	30,607	30,517	90
	計	368,206	387,378	△ 19,172	199,326	214,284	△ 14,958	168,880	173,094	△ 4,214
合計		594,703	612,971	△ 18,268	367,763	382,097	△ 14,334	226,940	230,874	△ 3,934

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【令和6年度決算】

(単位：億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	611	234 (35)	28	28	289	322	6,911	12,887	54%
	計画	601	266 (28)	27	36	330	271	6,680	12,887	52%
福岡高速	決算	442	169 (26)	20	16	206	236	5,466	9,094	60%
	計画	431	188 (22)	19	24	231	199	5,254	9,094	58%
北九州高速	決算	169	64 (9)	8	12	84	85	1,445	3,793	38%
	計画	170	78 (7)	8	12	98	72	1,425	3,793	38%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

令和6年度決算(損益計算)と償還計画(収支計算)を比較するため、計画の値に調整を加えています。

償還計画は、福岡高速が令和3年3月の料金認可を、北九州高速が令和7年1月の料金認可を使用しております。

償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しております。

●損失補てん引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

9. 令和5・令和6事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	R 6 事業 年度 A	R 5 事業 年度 B	増減額 A－B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	321.6	351.4	△ 29.8
当期利益	0.0	0.1	△ 0.1
減価償却費	2.2	1.9	0.3
債券発行諸費等償却	0.9	1.0	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	0.3	0.2	0.1
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.0	0.1	0.0
損失補てん引当金の増減額	27.5	27.5	0.0
債券利息	25.6	26.6	△ 1.0
借入金利息	1.3	1.8	△ 0.5
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	4.4	△ 9.9	14.3
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	8.0	△ 6.1	14.1
その他の増減額	0.1	0.0	0.1
小 計	391.9	394.5	△ 2.6
利息の受取額	0.0	0.0	0.0
債券利息等の支払額	△ 25.6	△ 26.6	1.0
借入金利息の支払額	△ 1.4	△ 1.9	0.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	364.9	366.0	△ 1.1
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 33.5	△ 11.0	△ 22.5
建設仮勘定の取得による支出	△ 146.3	△ 53.5	△ 92.8
固定資産の取得による支出	△ 2.2	△ 2.2	0.0
事業資産等の売却による収入	0.1	0.0	0.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181.9	△ 66.7	△ 115.2
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0.0	0.0	0.0
短期借入金の返済による支出	0.0	0.0	0.0
長期借入による収入	51.2	38.1	13.1
長期借入金の返済による支出	△ 117.9	△ 140.9	22.9
債券の発行による収入	0.0	24.9	△ 24.9
債券の償還による支出	△ 125.0	△ 154.0	29.0
出資金の受入による収入	9.0	5.4	3.7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 182.7	△ 226.5	43.8
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	0.3	72.9	△ 72.6
VI 現金及び現金同等物期首残高	140.3	67.4	72.9
VII 現金及び現金同等物期末残高	140.6	140.3	0.3

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	140.6 億円	140.3 億円	0.3 億円
現金及び現金同等物	140.6 億円	140.3 億円	0.3 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

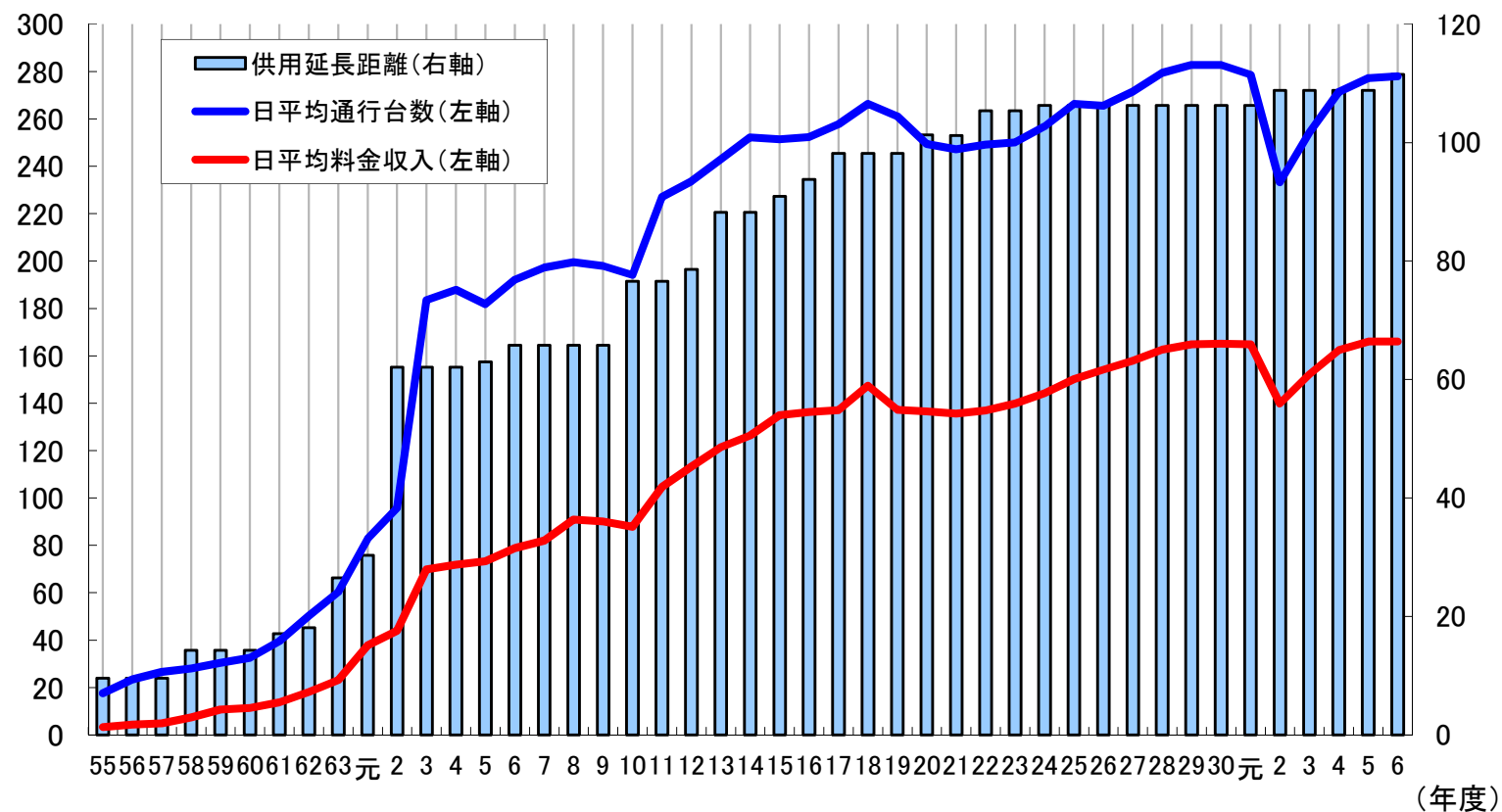
令和6年度

料金収入 **608億円**

日平均料金収入 **1.7億円**

日平均通行台数 **27.8万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)



供用延長距離	
令和7年3月末現在	
111.5km	
料 金	
福岡高速	
普通車	630円
大型車1	2,260円
北九州高速	
普通車	520円
大型車1	0,050円

1 1. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	－	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	－	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H1. 10. 1	－	16. 5	料金改定 (消費税3%転嫁)	1, 030	510
	H2. 12. 25	－	16. 5	名島本線料金所拡張		
	H3. 3. 21	－	16. 5	東浜西出口		
	H4. 4. 23	－	16. 5	名島出入口		
	H4. 7. 1	－	16. 5	東浜西入口		
	H5. 4. 2	0. 9	17. 4	香椎東～香椎		
八次供用	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北	1, 100	550
	H9. 6. 1	－	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城		
	H12. 3. 28	－	31. 0	貝塚 J C T～粕屋		
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)	1, 200	600
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重		
	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C	1, 230	620
十二次供用	H15. 5. 1	－	38. 7	料金改定		
	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重		
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)		
	H26. 4. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)	1, 260	630
	R1. 10. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税8%→10%)	1, 260	630
十九次供用	R3. 3. 27	2. 5	59. 3	香椎浜 J C T～アイランドシティ	1, 260	630
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350
				東港出入口		
	S59. 4. 21	－	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代		
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑 (消費税3%転嫁)	720	360
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸		
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H5. 4. 1	－	45. 6	料金改定	720	360
	H7. 9. 30	－	45. 6	山路出入口	900	450
	H9. 6. 1	－	45. 6	料金改定 (回数通行券料金)		
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1, 000	500
	H12. 11. 1	－	47. 1	料金改定		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2. 26	－	49. 5	小倉東IC接続		
	H26. 4. 1	－	49. 5	料金改定 (消費税5%→8%)	1, 030	510
	R1. 10. 1	－	49. 5	料金改定 (消費税8%→10%)	1, 050	520
十一次供用	R7. 3. 1	2. 7	52. 2	牧山～枝光	1, 050	520
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17. 3. 31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18. 3. 4供用) 北九州高速全号線に、ETC導入 (H20. 11. 1) 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続 (H22. 12. 15)					

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。